

通所生活介護評価表(保護者)

実施時期

令和元年12月

回収率 70% とうでいんぐ原田

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見
環境・ 体制整備	① 利用者の活動等のスペースが十分確保されているか	3	4		個人のスペースも取っていたり、テーブルもあるので十分とは言えないと思う。
	② 職員の配置数や専門性は適切か	4	3		職員も人間なので体調を悪くしたときなど人数が少なくなるので無理をして出勤しないような人数はいますか。配置数は適度だと思う。専門性はよくわかりません。支援員さんにはお世話になっています。ありがとうございます。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか。	2	5		元は普通の家なので十分とは言えません。階段は急だと思う。途中、段差等あり緊急時心配。そこまで細かく見ていないのでわかりません。
適切な 支援の 提供	④ 利用者と保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	6	1		個別面談もあり。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	7			以前に比べたら増えましたね。
	⑥ 社会的活動や文化的活動等を通して、社会との接点を持った活動を推進しているか	7			アート活動が好きです。
保護者 への 説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされているか	7			
	⑧ 日頃から利用者の状況を保護者と伝え合い、利用者の発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	1		こちらから困っていることや状況を言うと、実はこちらでも、と話をしてくれますが、変化があったときは教えてほしい。
	⑨ 保護者に対して面談や、悩み等に関する助言等の支援が行われているか	7			十分と思います。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	1	3	いつも同じメンバーなのでそのお母さんたちはしゃべりやすいです。一度全員の保護者と会いたいです。
	⑪ 利用者や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、利用者や保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	2		
	⑫ 利用者や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	2		
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を利用者や保護者に対して発信しているか	7			ホームページを楽しみにしています。
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	7			
	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	1		
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7			

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見
満足度	⑰ 利用者は通所を楽しみにしているか	6	1		
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	7			事業所に送っていくと笑顔で迎えてくださりうれしく思っています。家庭的な感じがしてこの事業所にしてよかったと思っています。

各項目についての評価及び課題

①	R2.4月からの新規事業所においてかなり改善されると思っています。
②	職員配置については、通常よりもかなり多く配置しています。専門性については、職員内部研修及び外部研修に加え、令和元年度に導入した専門家によるコンサルテーションによってかなり職員の意識変革はできつつあると思います。さらに、研修を重ね、豊かな実践が取り組めるように努めていきます。
③	①同様、R2.4月からの新規事業所においてかなり改善されると思っています。
⑩	現在、月に1回のサロンを開催してきていますが、より発展的に保護者間の交流及び法人並びに事業所、職員等への要望を気軽に話し合えるような環境を考えたいと思っています。なお、次期計画の中心となるグループホーム建設に向けて具体的に動き出したいと考えていますので、ぜひ、今以上のご協力をお願いします。
⑪	苦情については、第三者委員への報告及び提言を受け、改善策をまとめ、富士市障害福祉課へは詳細を含め提出しています。保護者通知では詳細の報告をしておりませんので、個々に問い合わせただけければと思います。なお、たくさんのご意見は頂戴しておりますが、第三者委員を巻き込むようなクレーム等は開所以来一件もありません。
⑫	現在は、主に連絡帳を活用して行い、その都度、伝えることは伝え合うように努めています。支援面についての意思疎通等は支援員の専門性にもかかることですので、今後も、研修等を通して、質の向上を目指していきます。

全体としての課題

開所以来、活動プログラム等の開発等を進め、その結果として、ソフト面について保護者の方々から高評価を受けられたことは素直に喜びたいと感じています。令和元年度から導入している専門家によるコンサルテーションによって支援員の取り組み方に対する視野がかなり広がったと思っています。令和2年度からは、3～5年計画で法人及び事業所として何を具体的に目指していくのか、その理論的根拠の構築を確かなものとしていくためにもコンサルテーションを継続していくことにしています。また、令和3年度には第三者評価を正式に受け、法人及び事業所の点検、今後の見直すべきこと等をきちんと把握していくことも計画しています。仲間たち及び私たち、そして法人、事業所のゆたかな発達を保障していくためには保護者のご意見、ご協力が欠かせません。今後も保護者の方々から気軽に足を運べる事業所を目指していきますので、あらためて、よろしくをお願いします。